

三尖弁輪自由壁に位置する副伝導路への カテーテルアブレーションの心腔内心エコーの有用性について

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

WPW 症候群は心房-心室間をバイパスする先天性な異常組織（副伝導路）で、カテーテルアブレーションにより根治できる疾患の一つです。しかし、三尖弁輪自由壁側に位置する副伝導路は一般的に難易度が高く、慢性期の再発率が高いと言われています。理由として三尖弁輪の正確な同定が困難なこと、また、カテーテルの至適治療部位の安定した固定が困難なことがあげられています。そこで、心腔内心エコーを用いて正確な三尖弁輪の同定を行い、可変型シースを用いて安定した固定をえることで治療の有効性を上げられるか検証します。

研究の対象となる方

2017 年 1 月～2022 年 12 月に当院で三尖弁輪自由壁側に存在する WPW 症候群の治療を受けられた方

使用する試料・情報

三尖弁輪自由壁側に存在する WPW 症候群で、心腔内心エコーを用いて三尖弁輪を同定した患者様情報の使用開始予定日：2023 年 8 月 16 日～

研究予定期間

2023 年 8 月 16 日～2024 年 1 月 1 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 循環器内科 根岸耕大

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 循環器内科 根岸耕大

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)